

発達支援ルーム そらまめ

放課後等デイサービス評価表集計結果 報告書

先に実施したアンケート調査について集計した結果を報告いたします。

1. アンケートの種類

- ① 保護者向け放課後等デイサービス評価表（無記名式）
- ② 事業者向け放課後等デイサービス評価表（無記名式）

2. 目的

「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、1年に1回、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）にご回答いただき、その結果を踏まえて事業運営の改善を図るため。

3. 調査期間

2025年9月16日 ～ 2025年12月12日

4. 調査対象

- ①放課後等デイサービスそらまめ利用者（18人）
- ②放課後等デイサービススタッフ（7人）

5. 回収状況

- ①利用者回答 回収数：13票(内無効票0)有効回収数：13票 有効回収率：73%
- ②スタッフ回答 回収数：6票(内無効票0)有効回収数：6票 有効回収率：100%

6. 保護者様向け：放課後等デイサービスアンケート結果表

	問	とても	すこし	あまり	全然	分からない
環境・体制整備	①お子様の遊ぶ場所や学ぶ場所の大きさは十分だと思われませんか。	46.2%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%
	②スタッフの人数または専門知識は足りていると思われませんか。	61.5%	23.1%	0.0%	0.0%	15.4%
	③事業所の設備等の配慮が適切になされていると思われませんか。	69.2%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%
適切な支援提供	④お子様や保護者様のニーズや課題が客観的に分析されていると思われませんか。	61.5%	23.1%	7.7%	0.0%	7.7%
	⑤お子様と保護者様のニーズや課題に合わせて活動プログラムが提供されていると思われませんか。	76.9%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%
保護者様へのご説明	⑥支援の内容、ご利用者負担等について丁寧な説明がされたと思われませんか。	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑦お子様の状況や課題についてスタッフからの報告は十分と思われませんか。	76.9%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
	⑧保護者様に対しての面談や、家庭内での療育的なアドバイスはあると思われませんか。	76.9%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%
	⑨お子様や保護者様からのご意見について迅速かつ適切に対応していると思われませんか。	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑩ホームページ等での情報発信は十分だと思われませんか。	46.2%	15.4%	0.0%	0.0%	38.5%
非常時対応	⑪そらまめは、お客様の個人情報保護に十分注意していると思われませんか。	69.2%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%
	⑫そらまめの緊急時対応、防犯について、十分だと思われませんか。	38.5%	23.1%	0.0%	0.0%	38.5%
	⑬そらまめが行う感染対策は十分だと思われませんか。	38.5%	30.8%	7.7%	0.0%	23.1%
満足度	⑭非常災害の発生に備えた定期的避難訓練等は十分だとおもわれますか。	38.5%	23.1%	0.0%	0.0%	38.5%
	⑮お子さまは通所を楽しみにしていらっしゃいますか。	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑯そらまめが行うお子様への支援に満足していらっしゃいますか。	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	⑰長期休業の活動内容（夏休みなど）に満足していらっしゃいますか	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%

7. そらまめの活動の中で、お子様の好きな活動はありますか

1. お楽しみ会、土曜日の活動、フリータイム。
2. 公園遊び、レジン、ごっこ遊び(ぬいぐるみ)
3. マイクラ等のゲーム
4. 皆で外食へ行くこと
5. 体を動かして帰ってきた日は、楽しそうに反して教えてくれることが多いです。
6. ゲーム、すし。

8. そらまめに取り組んでほしい活動はありますか

1. 学校に送迎が出来たらよりありがたいです。
→ 車両台数や人員体制に限りがあり、ご希望に沿えず申し訳ございません。今後も安全面を最優先にしながら、可能な支援のあり方について検討を続けていきます。
2. 天気や気温がほどよい日に公園に連れて行ってもらえると助かります。
→ 季節や体調に配慮しながら、外遊びを通して体力づくりや気分転換、集団での関わりを育む活動を取り入れていきます。
3. みんなでおやつをつくる。
→ 手順理解や役割分担、達成感を大切にしながら、おやつ作りを療育活動として取り入れていきます。
4. 動物とのふれあい。
→ 命への関心や情緒面の育ちにつながる活動として、イベント企画の参考にさせていただきます。

9. ご意見

1. いつも子どもたちを第一として考え、行動してくださるスタッフの皆様には感謝しかありません。今後ともどうぞよろしく申し上げます
→ 温かいお言葉をありがとうございます。今後も子どもたち一人ひとりの安心と成長を大切にしながら支援を行ってまいります。
2. 子どもたちの困りごとや良い面をよく把握して、教えて下さり、長期的に関わって下さることが親にとっても大変ありがたく、感謝しております。
→ 日々の関わりの中で、お子さまの困りごとだけでなく強みや良い面にも目を向け、保護者様と共有しながら長期的な視点で支援を行ってまいります。

10. 今後の課題(保護者向け)

※改善点（評価アンケートのあまり・全然・分からないもの 10%を超えているものを抜粋している）

問1. お子様の遊ぶ場所や学ぶ場所の大きさは十分だと思われますか。

→ 利用人数や活動内容に応じて空間の使い方を工夫し、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。混雑が予想される時間帯には、活動の分散やスペース配分を調整し、お子様一人ひとりが安心して活動できるよう環境調整を行っていきます。

問2. スタッフの人数または専門知識は足りていると思われますか。

→ 安定した支援を行うため、必要な人員体制を確保するとともに、定期的な研修や外部講師による学びの機会を設け、専門性の向上に努めています。職員一人ひとりが共通理解を持ち、お子様の特性や発達段階に応じた支援が行えるよう、継続的なスキルアップを図ってまいります。

問4. お子様や保護者様のニーズや課題が客観的に分析されていると思われますか。

→ ご家族からの主訴やご要望を丁寧に伺い、日々の支援記録や学校での様子も踏まえながら、職員間で検討を行っています。多角的な視点でアセスメントを行い、お子様一人ひとりに合った支援につなげています。

問10. ホームページ等での情報発信は十分だと思われますか。

→ ブログや SNS を通じて、活動の様子や取り組みを発信しています。日々の支援内容が見える形で伝わるよう工夫し、保護者様に安心していただける情報提供を心がけています。

問11. そらまめは、お客様の個人情報保護に十分注意していると思われますか。

→ 個人情報保護方針を明確にし、適切な管理を徹底しています。お子様やご家族の大切な情報を守ることを支援の基盤と考え、法令やガイドラインに基づいた運用を継続しています。

問12. そらまめが行う感染予防対策は十分だと思われますか。

→ 手指消毒や室内換気、加湿、マスク着用などの基本的な感染予防対策を日常的に行っています。

季節や感染状況に応じて対策を見直し、職員への研修も定期的実施することで、安心して通所できる環境づくりに努めています。また、感染予防に関する取り組みについては、ブログやインスタグラム等を通じて情報発信を行い、保護者の皆様にも状況や対応を共有しています。

問 13 そらまめの緊急時対応、防犯について、十分だと思われませんか。

→ BCP（事業継続計画）に基づき、緊急時対応や防犯に関する研修を定期的に行っています。職員間で役割や対応手順を確認し、お子様の安全を最優先にした支援体制の構築に努めています。また、緊急時対応に関する取り組みや訓練の様子については、ブログやインスタグラム等で発信し、保護者の皆様に分かりやすくお伝えしています。

問 14 非常災害の発生に備えた定期的避難訓練等は十分だとおもわれますか。

→ 非常災害の発生を想定し、定期的に避難訓練を実施しています。繰り返し訓練を行うことで、お子様が落ち着いて行動できるよう支援し、職員も適切な対応が取れるよう備えています。避難訓練の実施状況や取り組み内容については、ブログやインスタグラム等で情報発信を行い、施設の安全対策を共有しています。

11. 事業所向け：放課後等デイサービスアンケート結果表

問		とても	少し	あまり	全然	分からない
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		4	2		
	② 職員の配置数は適切であるか。	4	1	1		
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		3	3		
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1			
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6				
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6				
	⑦職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	1			
適切な支援の提供	⑧アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2			
	⑨子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3	1	1		
	⑩活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1			
	⑪活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3			
	⑫平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	4	2			
	⑬子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				1
	⑭支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5				1
	⑮支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	1		1
	⑯日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	⑰定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	3	3			
⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	3			1	

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5				1	
	⑲学校や関係機関等と支援会議を通じて児童の状況把握に努めているか。	5	1				
	⑳就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	1			2
	㉑学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3					3
	㉒児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		2				3
	㉓放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		2	3	1		
	㉔日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	2	3	1		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉕保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	1	1	3		1	
	㉖運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1			1	
	㉗保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	2			1	
	㉘子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				1	
	㉙定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5				1	
	㉚個人情報に十分注意しているか。	5	1				
	㉛障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				1	
非 常 時 等 の 対 応	㉜事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			1	3	2	
	㉝緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	3	2	1			
	㉞非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1				
	㉟虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1				
	㊱どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1				
	㊲食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2			2	
	㊳ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	1				

12. 今後の課題（事業所向け）

改善点

問1.利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。

→落ち着きルームを作る。一人になりたいときになどの有効活用ができています。

問2.職員の配置数は適切であるか。

→職員が多い日と少ない・足りない日がある。

問3.事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。

→建物バリアフリー化は難しいが、安全面への配慮をしている。危険箇所への注意を促している。

問4.業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。

→時間を取り話し合っている

問5.保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。

→事業部内で話し合っている。

問6.この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。

→ホームページで公開をしているが、周知が不足している部分もあるため、入り口など情報を提示していく。

問7.職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。

→施設内で行うと共に、個人で受けられる研修の情報提供を施設内で行っている。

問8.アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。

→面談や利用日などに保護者から本人の様子や希望など現在、求めていることをうかがっている。

問9.子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。

→心理検査等の結果を活用している。

問10.活動プログラムの立案をチームで行っているか。

→打合せする日時を事前に決めて話し合いを行っています。

問11.活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。

→固定化しないよう全スタッフで意見を出し合っています。

問 12.平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。

→課題ではなく成功体験につながるような活動を準備している。

問 13.子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。

→個別の活動時にも集団活動の要素を取り入れるなど工夫をしている。

問 14.支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。

→事前の様子を振り返り当日の内容などを確認をしている。

問 15.支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。

→次の日に振り替り共有ができています。

問 16.日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。

→正しい記録を残し、支援の検証、改善につなげている。

問 17.定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。

→計画書についてあいまいな部分があった。今後、見直しについて判断をしていけるように努める。

問 18.ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。

→定期的にガイドラインの見直しを行う。

問 19.障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。

→最も関わりがあり、その子の状況に精通した者が参加している。

問 20.学校や関係機関等と支援会議を通じて児童の状況把握に努めているか。

→日々、児童の状況把握に努めている。

問 21.就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。

→よりよい支援ができるように情報共有と相互理解につとめている。

問 22.学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。

→適切な書類を作成している。また相談員と話し合いがある。

問 23.児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。

→各関係機関と重要な話し合いをする場合がある。

問 24.放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

→公園に遊びに行った際、交流が持てているときがある。

問 25.日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

→ミーティングを行っている。

問 26.保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。

→適宜行っている。

問 27.運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

→適宜行っている。

問 28.保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。

→進路のことなども含めて意識決定支援の枠組みから漏れないよう気をつけたい。

問 29.子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

→その都度、迅速に対応し、スタッフ間で共有をし、適切な対応に努めている。

問 30.定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

→会報誌、ホームページ、インスタグラムで定期的に発信をしている。情報発信を強化していく。

問 31.個人情報に十分注意しているか。

→取扱いに十分に注意している。

問 32.障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。

→意思の疎通、情報伝達がスムーズに行われるようそれぞれにあった対応を考えている。

問 33.事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。

→現在の、地域住民の方を招待する機会が設けられていない。今後検討していきたい。

問 34.緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。

→各マニュアルを策定し訓練、話し合いを行っているが、保護者に対して通知できているかは確認不足。

問 35.非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

→定期的に計画をしている。

問 36.虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

→施設内で定期的な確認を行っている。

問 37.どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。

→現在は対象のことがいないが、契約時に確認と説明をしている。施設内で定期的な確認を行っている。

問 38.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。

→契約時と定期面談時に、確認をしている。おやつを決めるときに、アレルギーの確認をしている。スタッフが確認しやすい表があると良い。

問 39.ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。

→ヒヤリハット報告・事故報告書を作成している。ミーティング時に確認と今後の対応について話し合いをしている。